

外国人案内および地域交流について

地域振興未来会議委員より提案いただいた表記の件について、提案の内容を深掘りして具体化し、支所で施策検討するため、委員のご意見を伺います。

1 委員提案内容について

- ・ダイキンアレスへ海外からの研修生が多数宿泊しており、研修生が町内で買い物、ジョギング、散歩などしているが、地域内の看板などの案内表記が外国語へ対応しておらず、外国人への案内が不十分と考える。
- ・海外からの研修生と地域住民の交流、特に子供との交流により、子供の国際文化への理解を深める取組ができないか。

2 青谷地域への外国人訪問について

青谷地域には、ダイキンアレスという世界規模の企業が所管する宿泊研修施設があり、世界各国から研修に外国人が訪れる環境となっている。

また、民泊関係でも、外国人民泊を勧めている「橋本商店」や、古民家をリノベーションして日本の自然な生活を楽しめる民泊「月読庵」など、外国人が宿泊する民泊施設も点在している。

さらに、「あおや和紙工房」では、日本古来からの伝統産業である「和紙」を紙漉き体験や染め和紙体験など様々な手法で体験ができ、多い月では月間約50名程度の入館があるなど、外国人観光客が求めている魅力ある「和」のコンテンツが豊富に存在している。

⇒地域を訪れる外国人観光客は、今後も継続していくと考えられる。

3 ダイキンアレスとの連携について

ダイキンアレス担当者から聞き取りを行った結果については下記のとおり。

項目	回答
研修生と地域住民の交流	研修生は日程が詰まっており、交流時間の確保は困難
お土産品等による PR	春と夏には社員向けの保養施設としており、社員の家族などが訪れるので、その際は青谷ようこそ館などに朝市

	を開催してもらっている
地域の学生との関わり	青谷高校の生徒が年 1 回課外授業で来るが、研修生との交流ではなく社会科見学的なもの

また、研修生の時間外については自由行動としているため、施設側から何らかの勧奨的な取組をすることは今のところ考えていない。

4 外国語案内表示について

地域内の案内表示に外国語を追加する際に検討すべきポイント：

1. 対象となる外国語の選定

地域に多く訪れる外国人の国や言語を把握することが重要。観光地であれば、英語、中国語、韓国語、フランス語などが一般的だが、地域によってはその他の言語が重要になることも。定期的に訪れる観光客やビジネスマン(ダイキンアレス)の国籍に応じた言語を選定。

2. 表示場所の選定

どの場所に外国語の案内を追加するか。観光地、駅、空港、バス停、施設内など、訪れる外国人の利用が多い場所を中心に追加するのが効果的。

また、既設の看板等は原則として設置者が外国語表記を追加するか判断するため、設置者へ申し入れする等、手続きが必要となる。

3. 交通手段に合わせた案内

交通機関や交通案内も多言語対応が必要。駅のプラットフォームやバスの運行案内板など、特に移動時に外国語案内を加えると利便性が向上する。

バスの路線案内や電車の駅名表示、時刻表など、すぐに確認できる場所に外国語を追加する。

5 今後の取組について

以上の点を踏まえ、総合支所では研修生との交流は現時点では困難と判断する一方、外国人に対する何らかの情報提供は必要と考えている。

そこで、地域で進める取組について協議をお願いしたい。

1. 外国語の選択

2. 青谷地域内で外国人案内表記が必要な場所(ポイント)

3. 案内方法(看板、パンフレット、Web 媒体 など)

青谷地域振興未来会議 地域課題提案書

提出日 令和7年 7 月 9 日 提案者 田内伸一

①提案の背景、現状

ダイキンアレスの海外からの研修生が青谷町内で買い物やジョギング、散歩をしているが、外国語表記の看板や地図が無い。

②解決したい課題

- ・ 外国語表記の案内板の設置やパンフレットの作成
- ・ 海外からの研修生と地元地域の交流

③課題解決のための具体案(あれば)

青谷町内の外国語表記の案内板やパンフレットを作成し、青谷町民とのコミュニケーションを図る。
また、各国からの研修生と青谷町内の子供たちの交流の場を設け子供たちの視野を海外まで広げていく。
海外からの研修生も張詰めたプログラムの中に地域との交流という項目を設けて、和やかな雰囲気の中で研修をしてもらう。

・令和7年7月9日(水)までに地域振興課まで提出してください。